



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東
コード番号 1379 URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中田 康平 TEL 026-259-5955
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	34,862	10.3	△1,975	—	△668	—	△617	—
2023年3月期第2四半期	31,617	0.4	△4,397	—	△2,769	—	△2,208	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 33百万円（—%） 2023年3月期第2四半期 △2,398百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△19.49	—
2023年3月期第2四半期	△69.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	105,128	50,156	47.7
2023年3月期	104,897	50,955	48.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 50,156百万円 2023年3月期 50,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年3月期の期末配当予想については、現時点では未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,200	9.9	1,920	—	2,110	—	700	—	22.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2 Q	33,359,040株	2023年3月期	33,359,040株
② 期末自己株式数	2024年3月期2 Q	1,637,362株	2023年3月期	1,698,816株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2 Q	31,690,299株	2023年3月期2 Q	31,597,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は2023年11月17日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会をオンライン配信にて実施する予定です。この説明会で使用する決算説明会資料等については当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで社会経済活動が正常化に向かい、国内の景気は個人消費や設備投資などの持ち直しが見られる緩やかな回復基調となりました。一方、ウクライナ情勢の長期化及び急激な円安による物価の上昇などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、「きのこで健康を届けることを使命に市場と消費を拡大する」及び「利益の創出と企業の社会的責任を両立する」を経営ビジョンとし、当社グループは消費者の皆様及び従業員の安全を最優先に考え、きのこ事業を中心として、健康食材である「きのこ」の研究開発、生産、販売を通してより多くの皆様へ、おいさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高348億62百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業損失19億75百万円（前年同四半期営業損失金額43億97百万円）、経常損失6億68百万円（同経常損失金額27億69百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億17百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失金額22億8百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ22,286 t（前年同四半期比5.4%減）、エリンギ8,514 t（同5.3%減）、マイタケ7,396 t（同5.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

「国内きのこ事業」

生産部門におきましては、原材料価格、電力費、包装費などの製造原価が大幅に上昇する中、コスト削減に取り組むとともに、引き続き衛生管理をより徹底し、品質の向上と安定栽培に努め、安全・安心なきのこを提供してまいりました。

研究部門におきましては、品質管理体制の強化、付加価値の高い新製品の開発、既存のきのこの改良及びきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。

営業部門におきましては、きのこ需要を喚起すべく、健康・美容・スポーツを3本柱とした「きのこで菌活」を提唱し、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。販売面では、今期の初めより生産調整を行ったことにより、きのこの需給が改善したことや、野菜の相場も比較的高値で推移していたこと等により、きのこの価格も堅調な動きとなるなど、安定した状況で推移いたしました。

以上の結果、国内きのこ事業全体の売上高は215億74百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

[海外きのこ事業]

米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、値上げの効果が売り高、営業利益ともに堅調に推移いたしました。台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、過去3年間台風が一つも襲来しませんでした。今期は既に3回台湾南部を直撃したため、野菜全体の供給が減少しきのこの需要が拡大したため、売上高は堅調に推移し予算計画を上回りましたが、価格面では厳しい状況が続くまま、営業利益は計画未達となりました。マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、昨年からのインフレは弱まりを見せているものの、景気の先行きが不透明な状況の中、中国産のきのこがASEAN域内に安価で大量に輸入され、当社のきのこ販売に大きな影響がでました。その結果、売上高、営業利益共に計画を下回ることであります。

以上の結果、海外きのこ事業全体の売上高は36億16百万円（同14.9%増）となりました。

[加工品事業]

加工品事業におきましては、水煮・冷凍などのきのこの加工品の販売を行うとともに、新商品の開発および市場開拓に取り組んでまいりました。デリカ向け商品や中食向け商品が好調だったほか、青果向け市販用加工商品も乾燥シイタケ・水煮・炊込みご飯の素などを中心に順調な販売となりました。また、コンビニエンスストア向けの業務用生鮮きのこの販売、冷凍きのこ商品の販売も順調に推移致しました。通販事業では、乾燥シイタケなど値上げしたにもかかわらず好調に推移し自社ECサイトを中心に売上は伸びました。また、子会社の株式会社アーデンにおきましては、4月より値上げをした影響で受注が減少したため、売上高は計画を下回りました。

以上の結果、加工品事業の売上高は36億55百万円（同7.4%減）となりました。

[化成品事業]

包装資材を主要事業とする第一営業部では、品質劣化をおさえる機能性包材や、リサイクル原料を利用した環境包材を中心とした付加価値製品の提案営業に取り組みました。量販店向け売上が堅調に推移する一方、半導体・自動車関連部品関連メーカー向けの一部に回復の兆しがあるものの、工業資材販売は苦戦しました。

自社製品の生産・販売及び農業資材販売を中心とする第二営業部では、引き続き自社製品の品質向上と販売拡大に努めました。きのこ生産者向けに需給がひっ迫する一部生産原料や培地の安定供給に注力したほか、きのこ以外の野菜生産者向けの資材供給に努めました。

以上の結果、化成品事業の売上高は60億15百万円（同7.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は313億58百万円となり、前連結会計年度末より5億67百万円増加いたしました。固定資産は737億69百万円となり、前連結会計年度末より3億36百万円減少いたしました。

この結果、総資産は1,051億28百万円となり、前連結会計年度末より2億30百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は358億72百万円となり、前連結会計年度末より20億63百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金100億6百万円の増加、流動負債のその他に含まれる1年内償還予定の新株予約権付社債97億19百万円及び1年内返済予定の長期借入金29億52百万円の減少によるものであります。固定負債は190億98百万円となり、前連結会計年度末より30億94百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金29億99百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は549億71百万円となり、前連結会計年度末より10億30百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は501億56百万円となり、前連結会計年度末より7億99百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失6億17百万円を計上し配当金9億54百万円を支払ったことによる利益剰余金15億71百万円の減少及びその他有価証券評価差額金8億50百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.7%（前連結会計年度末は48.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績予想につきましては、2023年11月8日に修正発表をいたしました。通期の業績予想につきましては2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,031	13,245
受取手形及び売掛金	6,250	8,323
商品及び製品	2,636	2,982
仕掛品	4,308	4,965
原材料及び貯蔵品	1,056	1,101
その他	538	780
貸倒引当金	△31	△40
流動資産合計	30,790	31,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,334	72,246
減価償却累計額	△34,848	△36,245
建物及び構築物(純額)	36,486	36,001
機械装置及び運搬具	67,555	68,878
減価償却累計額	△55,339	△57,861
機械装置及び運搬具(純額)	12,215	11,016
土地	14,506	14,581
その他	2,760	2,928
減価償却累計額	△1,995	△2,056
その他(純額)	765	871
有形固定資産合計	63,973	62,471
無形固定資産		
のれん	9	—
その他	202	177
無形固定資産合計	211	177
投資その他の資産		
投資有価証券	6,681	7,912
退職給付に係る資産	1,127	1,155
その他	2,254	2,203
貸倒引当金	△142	△150
投資その他の資産合計	9,920	11,120
固定資産合計	74,106	73,769
資産合計	104,897	105,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,187	6,301
短期借入金	7,088	17,094
未払法人税等	262	226
賞与引当金	964	1,237
その他	23,433	11,013
流動負債合計	37,936	35,872
固定負債		
長期借入金	14,072	17,071
退職給付に係る負債	358	368
資産除去債務	1,030	1,048
その他	543	610
固定負債合計	16,004	19,098
負債合計	53,941	54,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,728	5,728
利益剰余金	41,943	40,371
自己株式	△3,151	△3,029
株主資本合計	50,020	48,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,352	2,203
為替換算調整勘定	△357	△568
退職給付に係る調整累計額	△59	△48
その他の包括利益累計額合計	935	1,586
純資産合計	50,955	50,156
負債純資産合計	104,897	105,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	31,617	34,862
売上原価	28,476	29,139
売上総利益	3,141	5,723
販売費及び一般管理費	7,538	7,698
営業損失(△)	△4,397	△1,975
営業外収益		
受取配当金	88	106
受取地代家賃	48	67
為替差益	1,512	1,111
助成金収入	9	9
その他	37	91
営業外収益合計	1,697	1,386
営業外費用		
支払利息	47	64
その他	20	15
営業外費用合計	68	79
経常損失(△)	△2,769	△668
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除却損	1	0
その他	0	—
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,769	△666
法人税、住民税及び事業税	209	344
法人税等調整額	△770	△393
法人税等合計	△560	△48
四半期純損失(△)	△2,208	△617
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,208	△617

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,208	△617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	850
為替換算調整勘定	△255	△210
退職給付に係る調整額	14	11
その他の包括利益合計	△190	651
四半期包括利益	△2,398	33
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,398	33
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。